

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>1. インフラ整備 2. 公用車を電動車に変更 3. ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての内容の充実</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 令和4年6月 豊橋市内に新たな水素ステーションを建設中 ② 豊橋市 569台車両保有/23台電動化済 ③ 豊橋市 令和3年11月6日ゼロカーボンシティ宣言をしました。</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>① インフラの整備 令和4年9月現在 新たな水素ステーションが完成</p> <p>② 公用車を電動車に変更 会派：まちフォーラムで要望書を作成 令和4年10月31日 浅井市長に要望書を提出予定 1.2.3.の要望を盛り込みました。 令和4年9月現在、現状維持。</p> <p>③ 次世代自動車等普及促進事業（電気自動車・プラグインHV・燃料電池車など） 令和4年12月定例会に於いて、次世代自動車購入等補助金の補正予算が組まれました。 EV・プラグインハイブリッド車種の申し込みの不足が発生する為の予算増額。 EV自動車 =プラス80台 令和4年度予算100台 ⇒トータル180台 PHV自動車 =プラス40台 令和4年度予算55台 ⇒トータル95台</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>豊橋市内に完成した水素ステーション 令和4年9月にオープン！！</p>
<p>今後の活動</p>	<p>今後も豊橋市としては、ゼロカーボンシティ宣言都市として何ができるのか、を調査・研究して提言する事が重要と考えます。 国の動向を見て動こうとする行政の対応が見られます。国・県の動きが大きく各市町に影響すると考えます。</p>	